

議 事 録

発 言 者	会 議 の て ん 末 ・ 概 要
<p>司会（森下主幹）</p> <p>岸田委員 事務局 （目黒補佐）</p>	<p>1 開会</p> <p>第2回会議の開催を宣言し、委員総数20人に対し、出席者は18人であるため、「久喜市立小・中学校の統廃合に伴う新校設立準備委員会設置要綱」第6条第2項に規定する会議の開催要件を満たしていることを報告。</p> <p>また、本日の傍聴者はいないことを報告。</p> <p>2 あいさつ</p> <p><内田委員長あいさつ></p> <p><議事に入る前に前回議事録について確認></p> <p>委員長と副委員長の就任あいさつについて、割愛せずに載せるべきではないか。</p> <p>概要ということで割愛していたが、全文を載せるように改める。</p>
<p>司会（森下主幹）</p>	<p>他に意見が無いか伺う。</p> <p><なしの発言あり></p>
<p>司会（森下主幹）</p>	<p>ご意見があった点を修正の上、議事録をホームページに掲載していくことを説明。</p> <p>内田委員長が議長に就任する旨を報告。</p> <p>3 議事</p>
<p>議長 （内田委員長）</p>	<p>議長に就任。</p> <p>本日の議事として、（1）新校の名称・校章・校歌に関する検討・決定方法について、総務部会長からの報告を求める。</p>
<p>総務部会長 （岡野副委員長）</p>	<p><部会長報告></p> <ul style="list-style-type: none"> ・新校の名称・校章については、総務部会において候補名やデザインの検討を行い、その結果を新校設立準備委員会の合議によって最終決定する案を検討したことを報告。 ・新校の校歌は、新校の開校後も現在の両小学校の校歌をそのまま生かすものとする。また、統合を機に統合後一定の期間のうちに、新たな校歌の作成を検討する案を検討したことを報告。 <p>事務局に補足説明を求める。</p>
<p>事務局 （目黒補佐）</p>	<p><事務局補足説明></p> <ul style="list-style-type: none"> ・本日の会議で承認が頂ければ、7月から9月にかけて、総務部会を開催し、まずは新校の名称と校章に関して、候補の検討と選定を進めていきたいと検討していることを説明。
<p>議長</p>	<p>委員長報告及び事務局の補足説明に対して、意見・質問等はないか伺う。</p>

(内田委員長)	
原嶋委員	新校の名称等について最終的な決定時期はいつになるのか。
事務局 (目黒補佐)	名称については、今年の11月を目途に。校章については、今年度中ないし来年度当初までに。校歌については、現在のものを生かすという考えなので、とり急いでの対応はなく、新しい校歌の作成については、ご意見を伺いながら適宜検討していく。
岸田委員	地元の江面地区の住民の参加というものをどのように考えているのか。スケジュールも無いが参加しなくていいのか。それとも、協議の中で決まったらお知らせするのか。
事務局 (目黒補佐)	準備委員会は各関係者の代表者で構成されており、地域のご意見などを代表してご協議頂いていると考えている。また、ご協議頂いた内容というのは、この後説明する「江面新校統合だより」などを通して、広く周知を行い、地域の方々などにご理解を頂けるように進めてまいりたいと考えている。
議長 (内田委員長)	その他の意見等があるか伺う。 <なしの発言あり。>
議長 (内田委員長)	新校の名称・校章・校歌に関する検討・決定方法について、委員長報告及び事務局の補足説明にあった通りの案で決定してよいか伺う。 <異議なしの発言あり。>
議長 (内田委員長)	議事の(2)に移る。 (2) 「(仮称)江面新校統合だより」の発行について、総務部会で協議した内容について事務局に説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	<事務局説明> ・資料2に基づき、名称、内容、配布先や用紙の種類等について説明。
議長 (内田委員長)	事務局の説明に対して、意見・質問等はないか伺う。
松村委員	「地域の皆さまのご意見、ご感想があればこちらへ」といった表示をすると良いのではないかと。双方向の意思の伝達ができるようにした上で、意見を事務局で取りまとめ、委員会に諮っていただきたい。そして委員会としての回答をするような形にしてはどうかと提案したい。
議長 (内田委員長)	その他の意見等があるか伺う。 <なしの発言あり。>
議長	今の修正案について、事務局に説明を求める。

(内田委員長)	
事務局 (目黒補佐)	ご提案頂いた内容のとおり修正する。
議長 (内田委員長)	それでは、そのように修正願います。 第2号以降の発行についてはどのように考えているか伺う。
事務局 (目黒補佐)	統合だよりについて、今後、ある程度の頻度で発行していくことも考えると、その都度、準備委員会に諮るとするのは難しいので、統合だよりの作成、配布について事務局に御一任願えればと思うがいかがか。
議長 (内田委員長)	事務局提案のとおりでよろしいか伺う。 <異議なしの声あり。>
議長 (内田委員長)	議事の(3)に移る。 (3) 新校における通学方法について、通学・PTA部会長から報告を求め
通学・PTA部会長 (朝武委員)	<部会長報告> ・スクールバスを運行し、その乗車対象を江面第二小学校区の児童とすることを報告。 ・事務局から提案された資料3-2や3-3の運行経路案を基に保護者などからも意見を伺って検討を進めていることを報告。 事務局に補足説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	<事務局補足説明> ・乗車対象は、江面第二小学校区の児童約50人とし、バスの規模は28人乗りのマイクロバスを検討している。配車台数としては、登校時2台、下校時1台から2台、プール等の夏季休業日1台。運行経路や運行時間の想定について、資料3-2、3-3の図や表の内容を説明。
議長 (内田委員長)	委員長報告及び事務局の補足説明に対して、意見・質問等はないか伺う。
松村委員	スクールバスの江面第一小学校の発着地について、行きは農村センター、帰りは総合運動公園の駐車場が挙げられているが、用水の所に蓋かけをするなどして、学校に直に乗り入れるべきだと考えているがいかがか。
議長 (内田委員長)	今のご意見に対して、事務局に説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	資料の内容については、現況を基に想定した内容である。私どもとしても学校になるべく学校に近い場所に設定した方が、より安全であるという認識であるため、そのようなご意見を踏まえ、学校に徒歩で通っている子ども達の安全性等も考えながら、さらに検討を進めてまいりたいと考えている。

松村委員	学校に直に乗り入れ出来るように是非していただきたい。多少の距離なら歩かせた方が良いという方もいると聞くと、体調が悪い子どももだっているし、何より低学年の子どもが県道を横断してスクールバスに乗りに行くというのは承服出来ない。何としても、用水を補強して蓋をかけるのだから全部ではないのだから、準備委員会として、教育委員会にお願いして欲しい。
通学・PTA部長 (朝武委員)	松村委員のご指摘のとおり、学校に直に付けられるのであれば、それが一番安全性の高まる方法だと私も考える。事務局案として、このような経路が示されたので、無理なのだろうと考えたが、仮に可能であり、準備委員会としても意見が一致するのであれば、そのようにすべきだと思う。
議長 (内田委員長)	今のご意見の中で、準備委員会として意見をとあったが、皆さんのご意見はいかがか伺う。 <賛成の声あり。>
議長 (内田委員長)	事務局には、このような意見が出たことを踏まえて、今後の検討を進めていていただきたい。
事務局 (目黒補佐)	承知しました。
議長 (内田委員長)	その他の意見等があるか伺う。
伊勢委員	なぜ江面第二小学校の正門前のところは、バスのルートから外れているのか。
通学・PTA部長 (朝武委員)	通学・PTA部会で協議する際に、子どもが住んでいる場所を勘案して検討した結果、江面第二小学校の正門側には子どもがあまりいなかったため、ルートから外して検討した。
伊勢委員	地域から説明を求められた際には、道が狭いからということではなく、子どもがいないからと説明してよいか。
通学・PTA部長 (朝武委員)	経路案を作った際には、そういった面での検討もあったように伺っている。
事務局 (目黒補佐)	事務局から補足説明いたしますと、まずは子どもに近いところというのがひとつ、そして、実際スクールバスを運行させるにあたって道幅などの物理的な面についても検討して想定ルートは作成したところである。
議長 (内田委員長)	その他の意見等があるか伺う。
岡崎委員	バスはどこの会社の運営になるのか。
事務局 (目黒補佐)	今後入札を行って決まるものになるので、現時点では未定である。
岡崎委員	それは、新校の開校までには決まるものなのか。

事務局 (目黒補佐)	新校の開校に間に合うようにスケジュールを立てて進めていくものである。
議長 (内田委員長)	先ほど、学校に直付けする案が出ていたが、バスの規格はそれが可能なものなのか。事務局に説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	大きさとしては、運行経路の状況を考えてマイクロバスを検討している。中型バス以上の大きさでは難しいと想定している。
議長 (内田委員長)	その他の意見等があるか伺う。
岸田委員	スクールバスに警備員といったことを考えているか。
事務局 (目黒補佐)	現状、学校と協力して、どこのバス停で何人が乗るといったような名簿を作成して、バスの運転手さんに確認してもらうことを考えている。別途警備を付けるということは、予算的な問題からも難しい。バス停における子ども達の見守りに関しては、通学・PTA部会において、保護者の方や地域の方との協力、連携などについて、議論を深めていただければと考えている。
通学・PTA部会長 (朝武委員)	今回の通学・PTA部会では、スクールバスを運行することと、その運行経路案について協議したところである。岸田委員がおっしゃったような内容は、保護者要望としても多々出ており、今後の部会において、事務局とも相談しながら検討をしていくところである。私自身としても、1学期くらいは添乗出来る人がいればいいと思うし、保護者からは、毎日バス停まで送迎は難しいという声も聞いている。まだまだ課題はたくさんあると思うが、どのような方法を取るのがより良いのか今後検討をしていきたい。
議長 (内田委員長)	今後、部会の方で十分練る機会を与えていただければと思う。通学・PTA部会の件で他に何かあるか伺う。 なければ私の方から事務局に。スクールバスが今後運行されるということだが、江面第一小学校区の遠距離通学の児童についてのご意見が皆さんからは出ていなかったが、スクールバスの対象になるか伺う。
事務局 (目黒補佐)	江面第一小学校区の対応であるが、現状、通学に注意を要する箇所を通らなくてはならないお子さんがいることは、私どもも十分認識している。 そういった中で、通学距離について昨年度調査をしているが、もっとも距離が長いお子さんで、太田袋地区の約2.5kmという状況であり、子どもの足で歩いて通学するには結構な距離であると思う。 しかしながら、教育委員会で定めている「久喜市立小・中学校の適正規模・適正配置に関する基本方針」において、適正配置の基準として、小学校の通学距離は概ね3km以内と定めており、その距離を超える場合は、スクールバス等の交通手段を検討することとなる。このような中で、江面第二小学校区のお子さん達は、この度の統合に伴って、通学状況が大きく変わり、通学距離も概ね3kmを超えるため、通学に関する配慮が必要である。このため、スクールバスの乗車は、江面第二小学校区のお子さんを対象としたところである。

議長 (内田委員長)	今の説明に対して、皆さんから何かあるか伺う。
岸田委員	江面第二小学校区の児童は学童を利用するのか。利用すると下校時間が全然変わってきてしまうのではないかと。 <学童にはお迎えをしていますとの発言あり。>
岸田委員	お迎えに行くということならば、考えなくて大丈夫ということか。わかりました。
議長 (内田委員長)	各個人でお迎えをするということですね。他にご意見があるか伺う。 無いようなら、新校における通学方法については、ただいまの報告・説明、そして修正案を含めて決定してよろしいか伺う。 <よろしく願いますとの声あり。>
議長 (内田委員長)	それでは、通学方法については、そのように決定する。なお、経路等については引き続き通学・PTA部会で検討をお願いする。 続いて、(4)統合に向けた学校施設の改修等について、議題とする。 学校運営部会長より報告を求める。
学校運営部会長 (石川委員)	<部会長報告> ・施設の改修等が必要と考えられる課題について ・今後の改修等の実施内容(案)について 事務局に補足説明を求める。
事務局 (目黒補佐)	<事務局補足説明> ・学校運営部会での協議内容についてと今後のスケジュールについて説明。
議長 (内田委員長)	只今、学校施設の改修等について、事務局から考え方が示されました。この点は、第1回の会議において、多くの委員の皆様からご要望があった事項である。 準備委員会として、事務局には出来る限りの対応をお願いする。 この資料の内容について、ご意見・ご質問があるか伺う。
岡崎委員	本校舎と体育館の間の活用は。
学校運営部会長 (石川委員)	ふれあい広場と子ども達が名前を付け、うさぎを放しており、小さな丘にもなっている。子ども達が安らぐ環境となっている。
松村委員	予算措置が必要なものは大変であることは十分に理解するが、本校舎と特別教室棟を結ぶ連絡通路は必要であると考え。また、現在そこに設置してあるプレハブ小屋は老朽化しているため、学校が使っているなら申し訳ないけれど、撤去すべきではないかと考えるがいかがか。
議長 (内田委員長)	そのあたり学校長として、石川委員さんいかがか。
石川委員	ご指摘いただきましたとおり老朽化している状況であり、毎日子どもが特別教室棟への移動の際などに前を通るので、教育総務課に対し、撤去して新しい物置を設置して欲しいと要望している。現在、あの中には普段使わなくなった備品な

	<p>どが入れており、必要に応じて探し出し、活用をしているところである。</p>
議長 (内田委員長)	<p>学校側としても、改修・改築が出来ればということだが、事務局はこの件でいかがか。</p>
事務局 (目黒補佐)	<p>今のお話も含めて、学校運営部会の方でも色々対応して欲しいと要望をいただいている。そういった中で、学校施設の改修については、先進事例の春日部市の例を参考にすると、施設の整備について計画書を作成して進めているようである。今後は、統合までに対応すること、長期的な修繕として進めていくことなどを分類しまして同様の計画を策定していきたい。計画書の案について、まずは学校運営部会の方でご協議をいただき、十分ご協議いただいた後には、審議会の方へお諮りしてまいりたいと考えている。</p>
議長 (内田委員長)	<p>具体的な物置の関係から、話が発展しておりますが、それ以外で何かご意見があるか伺う。</p>
早川委員	<p>学校の校庭の端にビオトープがあるが、今まったく使われておらずロープで囲われているような状況です。有効活用をするなり、使わないのであれば危ないので対応をお願いしたい。</p>
議長 (内田委員長)	<p>ビオトープというのは、一時期流行って色々な学校にありました。それがしばらく機能していないということだが、外の施設についてもこの機会にということですけれども、事務局ではそれも含めて検討するというところでよろしいか。</p>
事務局 (目黒補佐)	<p>頂いたご意見を踏まえながら、総合的に計画書をまとめてまいりたい。</p>
議長 (内田委員長)	<p>先ほど事務局の方から今後の進め方について説明があったが、その説明も含めて、改めて皆さまご意見・ご質問はあるか伺う。</p>
岡崎委員	<p>学童のスペースが不足しているということで、そうすると増設するということになると思うが、増設するとなると校庭の一部に作る場合、学校の校庭の面積はいくつ以上無いといけないということはあるのか。</p>
石川委員	<p>広さについての数値的なお答えは出来ないが、校庭を使っている者としては、あそこで行われる体力テストでは、50mの距離をななめに使ってやっつである。また、学童について、保育課からは余剰教室を使ってというお話をされているが、余剰教室が無いので図工室を午後に貸し出しということで対応している。これについては、各学年の担任が配慮をして、午後からの図工は入れないようにしている。今施設設備の中で、松村委員や岸田委員からご意見があったように、本校舎と特別教室棟の連絡通路が出来て、通路の両脇に教室や物置が作れば良いというのが、校長としての意見である。</p>
原嶋委員	<p>十数年前、学童保育を江面第一小学校外に作ったのだが、トラブルがあって駄目になった経緯があり、校舎に設置してあるので、現状、簡単に校舎外に作れるのかはわからないところです。</p>
事務局 (目黒補佐)	<p>今学童保育のお話がありましたので、把握している限りのお話をいたしますと、担当は市長部局の保育課だが、そちらでも、江面第一小学校のスペース不足</p>

	<p>は問題になっており、学校側と協議していると聞いている。施設整備という面では、私どもの話ともかかわってくるので、連携を図りながら計画を立ててまいりたい。</p>
<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>その他ご意見があるか伺う。</p> <p>先ほど事務局の提案もあったが、大規模改修等も含め施設の改修等の計画書、それらを作成して、その内容については、準備委員会で審議をして決定するというところでよろしいか伺う。</p> <p><はいとの声あり。></p>
<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>ありがとうございます。それでは、本日頂いたご意見等を含めて事務局で計画書の検討をお願いします。</p> <p>以上で、本日の議題はすべて終了したが、全体を通してその他のご意見等があれば伺う。</p>
<p>松村委員</p>	<p>自分の個人的な思いで恐縮だが、江面第一小学校と江面第二小学校が統合する。卒業生等からすると、自分の出た小学校がなくなってしまう。そこで、江面第一小学校のどこかに、江面第二小学校の資料室というか部屋のようなものを設けて、卒業生等の拠り所のようなものを考えられないかと思う。統合して、一抹の寂しさというものがあるのではないかと思うので、解消する方法のひとつとして、そういったものはどうかと思うがいかがか。</p>
<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>今日は委員で現在の校長先生である朝武委員がいらっしゃるが、学校経営をなさっていて今のご意見はいかがか。</p>
<p>朝武委員</p>	<p>今の話は、卒業生や地域の方ということだが、そこまで気が回っていないところである。今の子ども達に対しては、思い出づくりプロジェクト「ありがとう江二小」というものを始めた。子ども達がこの学校に何年間か通っていたよねというものを忘れないように今年と来年に向けて計画をしましょうと。一番大きなものとしては、来年子ども達全員で「学校に泊まろう会」というものを考えている。その前段として、今年5年生と6年生が「学校に泊まろう会」。その時に、来年は卒業生や地域の方も誰でも学校に泊まれるプロジェクトを考えている。</p> <p>今の話だと、統合後のお話ということで、私たちがどうすることではないと思うが、自分が江面第二小学校の卒業生だとしたら、そのような場所があったらありがたいと思う反面、それ以上に、今の江面第二小学校の跡地がどうなるのかなというのが凄く大きい事なのかなと思っている。というのは、まだその方向がまったく出されていないし、地域の方も大変不安がっているのではないか。あそこに何か残るのであれば、あそこの一部に思い出の部屋みたいなものを作れば、地域に近いし行きやすいと思う。新しい学校に作るというのも凄くありがたい一つの案かなと思うので、私が卒業生の立場に立ったら、両方の思いがあるなと思う。</p>
<p>原嶋委員</p>	<p>私は栗橋東第一小学校に勤務していたが、栗橋東第一小学校、栗橋東第二小学校、栗橋北小学校が統合して、現在の栗橋小学校が出来た。栗橋東第一小学校は廃校になって、そこは今栗橋公民館になっている。そこの2階に資料室があっ</p>

<p>松村委員</p>	<p>て、当時の栗橋東第一小学校の写真等を展示している部屋がある。江面第二小学校にそういったスペースが設けられるかは、検討してみないとわからないがそういったやり方もあると思う。</p> <p>朝武委員は色々考えてらっしゃって素晴らしいなと思いました。しかし、自分が卒業生だったら、跡地ではなくて今も生きているのだよと、自分たちと繋がっている後輩たちがここにいるのだよと、自分たちの時代から繋がってきているのだよというように思えばいいなと思ったのです。</p> <p>それで、一番肝心だと思うことが、江面第一小学校の子ども達は、本当に江面第二小学校の子ども達と一緒にになれるのが嬉しいなと、江面第二小学校の子ども達は、子どもが大勢いる学校で、温かく抱きしめるように迎えてくれて本当に嬉しいなと、そういう形を作る必要があると思っている。そのためには、両方の児童たちに思いを伝えていく必要があるし、同時に保護者と地域にも、これは嬉しいなと、希望がいっぱいだと、そのうねりを作っていくのが一番肝心だと思っているのだがいかがか。</p>
<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>一旦話を整理すると、先に松村委員のご意見があった件について、また、校庭関係の遊具施設等についても今回の資料4には入っていませんので、これも事務局の方で加えていただければと思う。それから、朝武委員からあった、お話はここで公表なさっておりますが、公にしてよろしいか。</p>
<p>朝武委員</p>	<p>今、地域、保護者、教職員からアイデアを伺っている段階なので、決定ではありませんが、今年プレイベントをPTAが中心となってやってくれるというのは決定しておりますので、学校はそれに協力するとしております。</p>
<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>関係の保護者の方もおられますので、今の朝武委員さんのご意見を踏まえてご対応頂けるようお願いする。</p> <p>次に、跡地利用についてですが、市は市長部局と教育部局で大きく分かれていると思います。そして、この内容については、市長部局が大きくかかわってくるかなと思いますが事務局にいかがか伺う。</p>
<p>事務局 (目黒補佐)</p>	<p>江面第二小学校の跡地利用について、内田委員長がおっしゃったとおり、久喜市としての検討の対応は市長部局が中心となって進めていくものである。今年度からアセットマネジメント推進課が新しく出来ており、そこで、庁内の全体的な検討会議が設置された。その中で、江面第二小学校の跡地利用についても、どういう利用が一番望ましいかと検討を進めるものとしており、すでに5月に第1回の会議が開かれたと伺っている。私たち教育委員会としては、地域の方、保護者の方に一番近い立場で様々なご意見等を伺ってきたので、皆さまのご意見をそういった検討の場に反映させられるよう、意見の内容を伝えていくという役割でかかわってまいりたい。</p>
<p>岡野副委員長</p>	<p>その他ということで、少し申し上げます。先ほど松村委員から心に染みるご意見を述べて頂きました。また、朝武委員からも今学校でこういったことをしているのですよというお話を頂きました。実は私は江面第二小学校の学校運営協議会にもかかわらせて頂いて、何度か学校の方に伺わせていただきました。その中</p>

<p>議長 (内田委員長)</p>	<p>で、朝武委員からは言い出しにくいのだろうと思うので、私から代弁しますと、江面第二小学校の子ども達はすでに、Weプランということで江面第一小学校の子ども達と色々な形で交流を持っています。そうした中で、地区の体育祭などを通じて、保護者同士もあと2年間のうちに交流出来たらいいですねという話がある。そうした方が、新しい学校が出来てそれからというよりも、その前から上手くスムーズに進められるのかなというふうに思いましたので申し上げました。</p> <p>色々貴重なご意見等頂きました。他に何かあるか伺う。</p> <p>無いようなので、本日の議事を終了し、議長の任を解かせていただきます。委員の皆様におかれましては、ご協力ありがとうございました。</p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>4 その他</p> <p>委員長、ありがとうございました。</p> <p>なお、次回の準備委員会の会議については、各専門部会で必要な協議を進めていただいたうえで、9月26日または9月27日ごろの開催を予定している。</p> <p>また、専門部会については、8月中に開催したいと考えている。</p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>5 閉会</p> <p>閉会にあたり、岡野副委員長にご挨拶をお願いします。</p> <p><岡野副委員長あいさつ></p>
<p>司会 (森下主幹)</p>	<p>以上をもって、第2回会議を閉会する。</p> <p>本日はありがとうございました。</p>